

調査概要

(1) 調査目的

立地適正化計画の策定に向けて、今後の目標設定や施策等の検討に反映できるよう、行田市の将来を担う中学生の意向を確認し、まちづくりに関わる現状や課題を把握することを目的として、アンケート調査を実施した。

(2) 調査対象

市内の中学校8校に通学する2年生を対象とした。

(3) 調査方法

WEB アンケート

(4) 調査時期・期間

令和4年11月11日(金)から11月25日(金)までの2週間

(5) 回答結果

| 配布数 | 回収数 | 回答率 |
|-----|-----|-------|
| 640 | 112 | 17.5% |

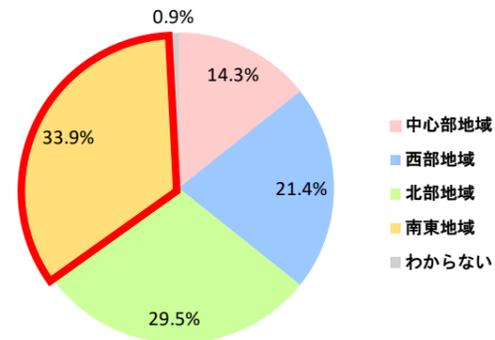


図1 回答者の居住地域 (n=112)

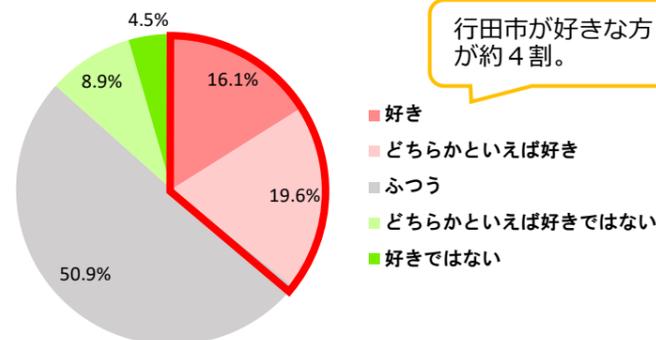


図2 行田市への好意 (n=112)

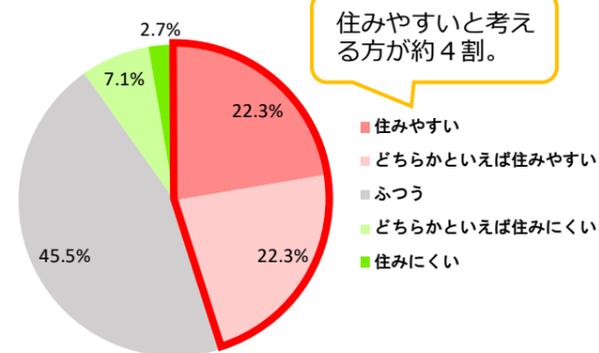


図3 行田市の住み心地 (n=112)

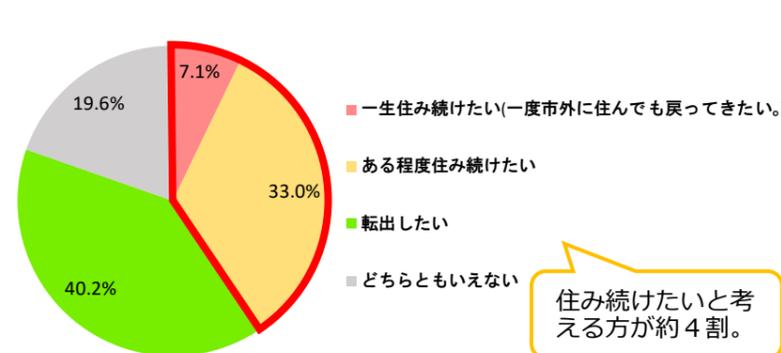


図4 行田市への居住継続意志 (n=112)

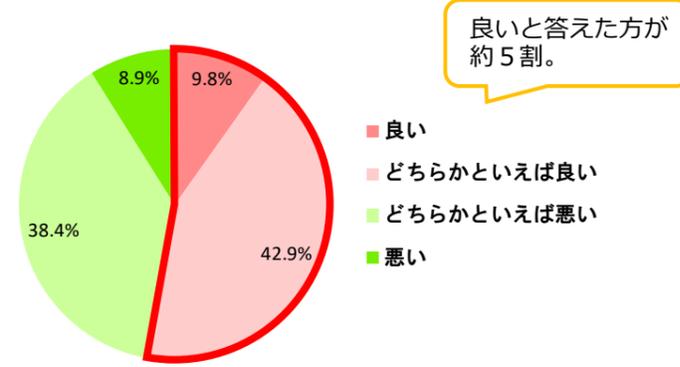


図5 行田市の交通の使いやすさ (n=112)

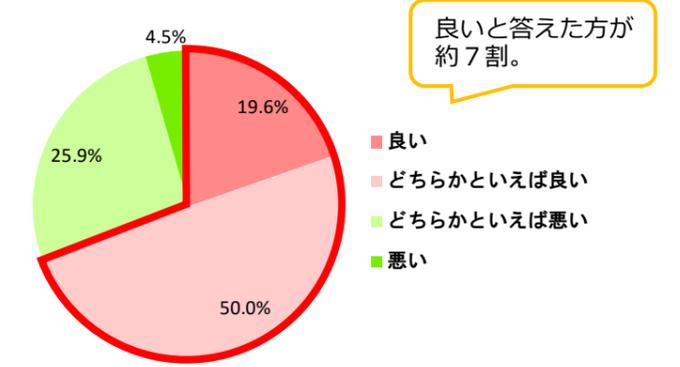


図6 まちの災害への安心感や備え (n=112)

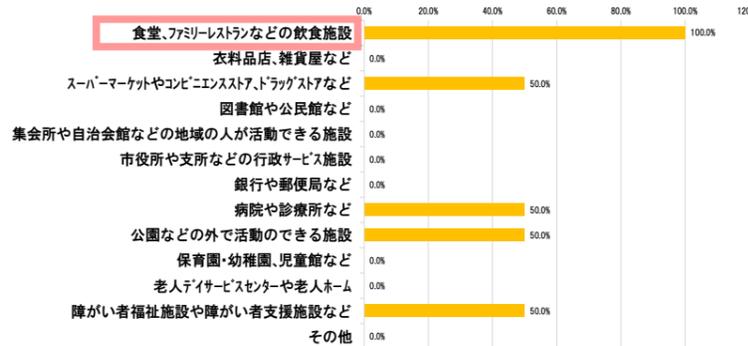


図7 行田駅周辺で「ないと困る施設」(n=23)

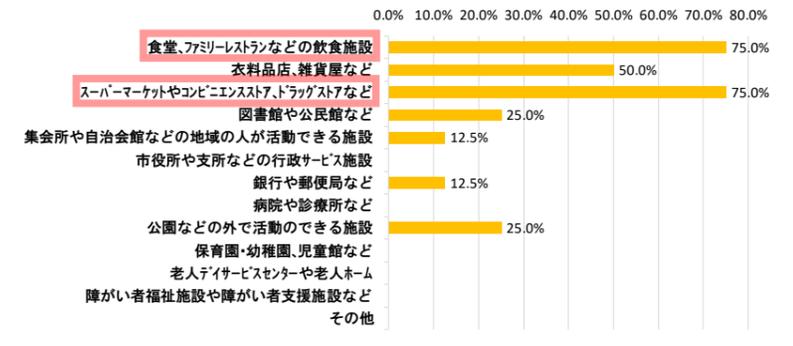


図8 行田市駅周辺で「ないと困る施設」(n=8)

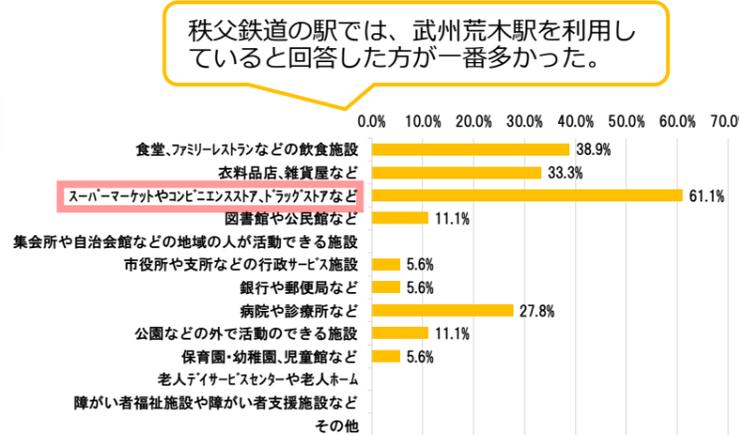


図9 武州荒木駅周辺で「ないと困る施設」(n=18)

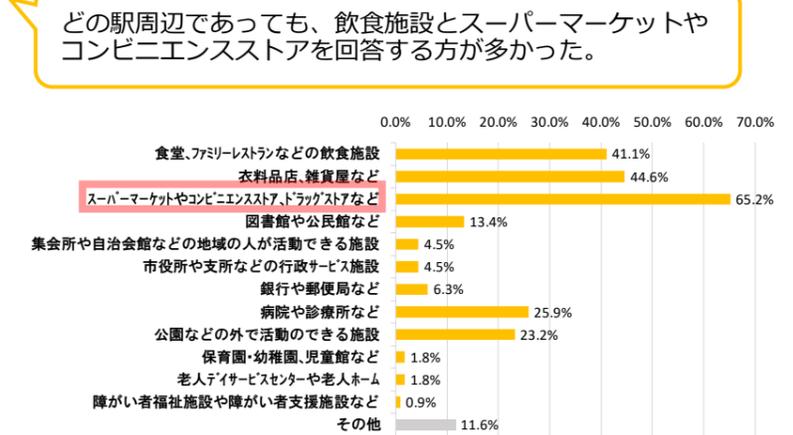


図10 自宅周辺で「ないと困る施設」(n=112)

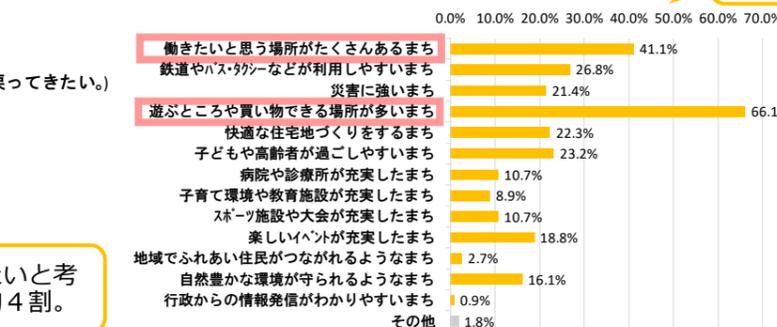


図11 行田市の今後のまちづくり (n=112)

【自由意見】

- 施設の整備・立地 延べ 35 件
- 観光・地域資源について 延べ 10 件
- 教育・子育てについて 延べ 7 件
- その他 延べ 17 件

遊ぶところや買い物ができる場所が多いまちが最も多く、次いで働きたいと思う場所がたくさんあるまちとなっている。

秩父鉄道の駅では、武州荒木駅を利用していると回答の方が一番多かった。

行田市が好きの方が約4割。

住みやすいと考える方が約4割。

住み続けたいと考える方が約4割。